

北海道支部

2019年

☆6月29日(土)第191回研究談話会(札幌市立大学)

題目: Carson McCullers and Orson Welles: Parables of Fascism

発表: 松井美穂(札幌市立大学)

司会: 本村浩二(駒澤大学)

*終了後、総会

☆11月9日(土)第192回研究談話会(藤女子大学)

題目: セアラ・オーン・ジュエット『とんがり樫の木の国』における孤独の肯定——人々をつなぐ作家の役割

発表: 斎藤彩世(北星学園大学)

司会: 鎌田禎子(北海道医療大学)

☆12月21日(土)第29回日本アメリカ文学会北海道支部大会(北海学園大学)

特別講演

演題: ハーレム・ルネサンスの徴の下に

講師: 鶴殿えりか(愛知県立大学名誉教授)

司会: 本村浩二(駒澤大学)

シンポジウム

題目: 他者と／を生きる——アメリカ文学と人種

司会: 松井美穂(札幌市立大学)

講師: 岡本晃幸(藤女子大学)

他者に触れる——『アンクル・トムの小屋』における共生の模索

講師: 島貫香代子(関西学院大学)

ジム・クロー時代の南部で生きる——「あの夕陽」における人種意識の形成

講師: 松井美穂

“Ride to Harlem, Alligator, Jackson, Mississippi”——ユードラ・ウェルティとパワーハウス

コメンテータ: 鶴殿えりか

2020年

☆3月31日 『北海道アメリカ文学』第36号発行

【特集】他者と／を生きる——アメリカ文学と人種

はしがき

松井美穂

他者に触れる——『アンクル・トムの小屋』における共生の模索

岡本晃幸

ジム・クロー時代の南部で生きる——「あの夕陽」における人種意識の形成

島貫香代子

“Ride to Harlem, Alligator, Jackson, Mississippi”

——ユードラ・ウェルティとパワーハウス

松井美穂

【新刊書紹介】

研究書

吉田恭子, 竹井智子 編『精読という迷宮——アメリカ文学のメタリーディング』所収

○島貫香代子 著

「ヴァビーナの香り」の追加——『征服されざる人々』における登場人物と作家の成長 本村浩二
中山悟視 編『ヒッピー世代の先覚者たち——対抗文化とアメリカの伝統』所収

○井出達郎 著

「流れと対抗——ヘンリー・ミラーの「エンカウンター」という試み」

○塚田幸光 著

「デッド・エンド, バッド・シーズ——『ボディ・スナッチャー／恐怖の街』と対抗文化の政治学」

○藤井 光 著

「ニルヴァーナとバーニングマン——ヒッピー世代の後輩としてのふたりの二世紀作家の振る舞い」 岡本晃幸

松本 昇 監修 西垣内磨留美・君塚淳一・中垣恒太郎・馬場 聡 編

『エスニシティと物語り——複眼的文学論』所収

○新関芳生 著

「ロボット政治学の試み——アイザック・アシモフのロボットものを再読する」 鎌田禎子

翻訳書

藤井 光 訳

○ステイーヴン・クレイン 著

『勇気の赤い勲章』

瀬名波栄潤

齊藤 昇 訳

○ワシントン・アーヴィング 著

『リップとイカボッドの物語: 「リップ・ヴァン・ウインクル」と「スリーピー・ホローの伝説」』

小古間甚一

東北支部

2019年

☆4月20日（土）2019年度第1回役員会・講演会・総会（東北大学片平さくらホール）

講演会 柴田元幸（翻訳家・東京大学名誉教授）

「訥弁の雄弁——アメリカ文学を訳す」

司会：中山悟視（尚絅学院大学）

☆6月15日（土）第2回役員会・6月例会（東北大学片平さくらホール）

研究発表1

高橋 愛（岩手大学）

「メルヴィルの描く「鬼嫁」」

研究発表2

戸田山みどり（八戸工業高等専門学校）

「メンターか誘惑者か？——*The Dragon in the Ghetto Caper* にみる大人と子ども」

☆12月7日（土）第3回役員会・12月例会（東北大学片平さくらホール）

シンポジウム：「出版50周年記念シンポジウム——

『スローターハウス5』を読み直す」

講師：諏訪部浩一（東京大学）

講師：中垣恒太郎（専修大学）

講師：田島優子（宮城学院女子大学）

司会・講師：中山悟視（尚絅学院大学）

2020年

☆3月14日（土）3月例会（東北大学片平さくらホール）

研究発表1

細谷 等（明星大学）

「イグナティウス・ドネリーと世紀転換期アメリカの終末論的欲望——ポピュリズム、ディストピア、アルマゲドン」

研究発表2

渡邊真由美（山形県立米沢女子短期大学）

「芸術の大衆化——Public Works of Art ProjectとCoit Tower」

研究発表3

藤倉ひとみ（順天堂大学）

「二項対立の超越——*Hedwig and the Angry Inch* における自己矛盾を通して」

☆3月31日（火）機関誌発行『東北アメリカ文学研究』第43号

（研究論文5，講演1，書評・映画評5）

☆4月18日（土）2020年度第1回役員会・講演会・総会（東北大学片平さくらホール）

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

東京支部

2019年

☆4月例会 2019年4月13日(土)午後2時より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 北館ホール

特別講演：「母語話者を前提としない翻訳——『井上陽水英訳詩集』の執筆で気づかされたこと」

講師：ロバート キャンベル(国文学研究資料館館長・東京大学名誉教授)

司会：阿部公彦(東京大学)

共催：慶應義塾大学藝文学会

★特別講演終了後、支部総会を開催

☆5月例会 2019年5月18日(土)午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟 A・B会議室

研究発表：「Value, Valuta, Valutaschweine——資本主義と〈モダン〉の黎明」

講師：吉田朋正(首都大学東京)

司会：杉本裕代(東京都市大学)

分科会：

近代散文：ワークショップ「Transbellum American Literature をめぐって」

小島尚人(法政大学)

現代散文：「アメリカン・ドリームという酔夢——*The Vegetable, or from President to Postman*に見るアルジャー・コンプレックス」

横山 晃(テキサス大学ダラス校・院)

詩：「エズラ・パウンドとマーシャル・マクルーハン——視覚・聴覚・電気」

勝田悠紀(東京大学・院)

演劇・表象：「主観性／主体性の逆説——フランシス・フォード・ Coppola『カンパセション……盗聴……』(1974)における聴覚の問題」

山本祐輝(立教大学・研究員)

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆6月例会 2019年6月29日(土)午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟 A・B会議室

シンポジウム：「〈関係性〉の詩学——アメリカン・ルネサンスを起点として」

司会：貞廣真紀(明治学院大学)

講師：藤村 希(亜細亜大学)

講師：古井義昭(立教大学)

講師：高尾直知(中央大学)

講師：三添篤郎(流通経済大学)

分科会：

近代散文：「Margaret Fuller の“Leila”における理想の女性の表象」

西田梨紗(大正大学・院)

現代散文：「カーソン・マッカーズにおける少女性と少年性——*The Member of the Wedding*を中心に」

吉岡 求(東京大学・院)

詩：「“‘It is Cabestan’s heart in the dish.’”——Ezra Pound の“Canto IV”における

鳥の歌にみられる Swinburne の影響」

岩川倫子(東京外国語大学・非)

演劇・表象：「アメリカにおける *Medea* の受容——日・米の比較から」

大野久美(創価大学)

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆9月例会 2019年9月28日(土)午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス第一校舎103教室

研究発表：「あるカリブ系移民作家のほやき——Elizabeth Nunez 作品を中心に」

講師：岩瀬由佳(東洋大学)

司会：齊藤みどり(都留文科大学)

分科会：

近代散文：「H. D. Thoreau のインディアン観——超絶主義思想の観点から」

林南乃加(群馬県立女子大学)

現代散文：「ウィリアム・キャザーが描いた理想と現実の女性像——*A Lost Lady* および *My Mortal Enemy* からの考察」

小倉 咲(津田塾大学)

詩：「T・S・エリオットの「とらわれ」の主体——初期詩篇における動物的表象について」

坂元美樹也(東京大学・院)

演劇・表象：「It’s About Time——Benjamin’s Queer Ageing」

宮永隆一郎(明治学院大学・非)

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆11月例会 2019年11月16日(土)午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス第一校舎103教室

研究発表：「「人種」は見た目が10割——人類最悪の発明とアメリカ文学」

講師：福井崇史(國學院大学)

司会：生駒久美(大東文化大学)

分科会：

近代散文：「「あちら側」を旅する言葉——ハーマン・メルヴィル『マーディ』の実験的言語をめぐる」

丸 聡弘（日本大学）

現代散文：「レスリー・マーモン・シルコウ『儀式』における南西部と小説の時空間」

井上博之（東京大学）

詩：トークセッション「ポエトリーリーディングについて」

関根路代（日本工業大学）

演劇・表象：「ヘンリー・ジェイムズにおける価値の逆説」

松井一馬（中央学院大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆3月例会 新型コロナウイルスの感染拡大のため、中止

☆12月例会 2019年12月14日（土）午後2時より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 北館ホール

シンポジウム：「ポエトリーリーディングの現在位置」

司会・講師：関根路代（日本工業大学）

講師：高橋綾子（長岡技術科学大学）

講師：斉藤修三（青山学院女子短期大学）

講師：石田瑞穂（詩人）

共催：慶應義塾大学藝文学会

2020年

☆1月例会 2020年1月25日（土）午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟 A・B 会議室

研究発表：「エドモンド・ウィルソンと「ロシア」

講師：岡本正明（中央大学）

司会：大矢 健（明治大学）

分科会：

近代散文：「*The House of the Seven Gables*に見られる都市の形成——文学研究とマテリアル・カルチャーの交差するところ」

佐野陽子（成蹊大学・非）

現代散文：「真実の中の嘘、嘘の中の真実——スタインベックの作品における弱者」

大須賀寿子（明治大学・非）

詩：「どちらでもない場所で「声」をさがす——Gloria E. Anzaldúa “To live in the Borderlands means you”を読む」

山中章子（日本工業大学）

演劇・表象：「トランプ時代のアメリカ演劇——Lynn Nottage 作 *Sweat* (2017) を中心に」

竹島達也（都留文科大）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

中部支部

2019年

☆6月例会

6月15日（土）南山大学 Q 棟 1 階 Q104教室

研究発表

- (1) 梅垣昌子（名古屋外国語大学）／司会：森 有
礼（中京大学）
「フォークナーと子どもの表象——『魔法の
木』から「朝の狩り」へ」
- (2) 倉橋洋子（東海学園大学名誉教授）／司会：
横田和憲（金城学院大学名誉教授）
「『緋文字』と『白鯨』にみられる円環構造に
ついて」

☆9月例会

9月21日（土）金沢大学角間キャンパス人間社会第
2 講義棟 2 階209講義室

研究発表

- (1) 杉山和孝／司会：山辺省太（南山大学）
「ポストヒューマニズムについて——アメリ
カでの受容とその文学研究における価値」
- (2) 高橋綾子（長岡技術科学大学）／司会：結城
正美（金沢大学）
「Brenda Hillman の “Crypto-animist Intro-
vert Activism” 他を通して環境詩、アクティ
ビズムについて」

★例会終了後に運営委員会を開催。

☆11月例会

11月16日（土）名古屋市立大学滝子（山の畑）キャン
パス 1 号館301教室

研究発表

- (1) 室 淳子（名古屋外国語大学）／司会：水口
陽子（豊田工業高等専門学校）
「アメリカ先住民と児童文学——Louise
Erdrich の *The Birchbark House* シリーズを
めぐって」
- (2) 中村栄造（名城大学）／司会：川本 徹（名
古屋市立大学）
「ロバート・エガース監督『VVitch』（2015）
を読む」

★例会終了後に運営委員会を開催。

☆ワークショップ（読書会）

12月7日（土）南山大学 Q 棟 5 階 Q501教室

テキスト：And Then They Came for Us（ドキュメ
ンタリー映画）

司会：佐々木裕美（愛知東邦大学）

講師：村山瑞穂（愛知県立大学）

講師：柳澤幾美（名古屋外国語大学・非）

講師：小林純子（名古屋外国語大学）

2020年

☆2月例会

2月15日（土）南山大学 Q 棟 5 階 Q501教室

研究発表

- (1) 林日佳理（岐阜大学）／司会：本田安都子（福
井大学）
「増幅する中毒者的シンセリテイ——*Infi-
nite Jest* の文体的特徴とポスト・ポストモダ
ニズム」
- (2) 川本 徹（名古屋市立大学）／司会：杉野健
太郎（信州大学）
「*The Sisters Brothers* の映画版をめぐって
——ジャンル論的考察」

★例会前に役員会を開催。

☆第36回支部大会

コロナウイルス感染症拡大のため中止

関西支部

2019年

☆7月例会 7月13日(土)

会場 大阪市立大学杉本キャンパス 法学部棟11階
特別会議室

「フィッツジェラルド・アフタヌーン」

テーマ「フィッツジェラルド再訪」

司会・講師：坂根隆広（関西学院大学）

「借金の現象学——“Financing Finnegans”を中心に」

講師：小林久美子（京都大学）

「Jordan Baker について」

講師：新関芳生（関西学院大学）

「F. S. Fitzgerald as “Poet/ Playwright” ——
初期作品における詩的・演劇的要素について」

★運営委員会を開催

☆7月20日(土)『関西アメリカ文学』第56号編集委員会
(第2回) 於：武庫川女子大学

☆9月例会 9月14日(土)

会場 神戸女学院大学 文学館2階L-28教室
研究発表

1. 「アーヴィング・ホーソーン・グロテスク
——*The Alhambra* と *The House of the
Seven Gables* をむすぶ夢の論理」

発表者：妹尾智美（立命館大学）

司会：中西佳世子（京都産業大学）

2. 「Ayad Akhtar 演劇における視線——*Dis-
graced* と *The Who & The What* を中心に」

発表者：森本道孝（大阪大学）

司会：山本秀行（神戸大学）

★運営委員会および臨時総会を開催

☆11月例会 11月2日(土)

会場 神戸大学鶴甲第1キャンパス 国際文化学研
究科E棟4階大会議室

研究発表

1. 「“Neighbour Rosicky” における自然観と
Cather の世界観」

発表者：大田祐慈（龍谷大学・院）

司会：石塚則子（同志社大学）

2. 「ジェイムズ・ボールドウィンの “The
Welcome Table” における語り」

発表者：柳楽有里（岐阜市立女子短期大学）

司会：ウェルズ恵子（立命館大学）

3. 「W. スティーヴンズの戦争詩について」

発表者：古口博之（岐阜協立大学）

司会：坂本季詩雄（京都外国語大学）

★運営委員会を開催

☆支部大会 12月14日(土)

会場 龍谷大学 大宮学舎 東翼301

フォーラム「メルヴィルとホイットマンの時代
——生誕200年を記念して」

司会・講師：橋本安史（関西学院大学）

『『白鯨』第1章を読む』

講師：入子文子（元・関西大学）

『『ファンショール』の新たな地平』

講師：渡邊克昭（大阪大学）

「蘇るポストヒューマン・バートルビー——

デリーロの『ボディ・アーティスト』を導きの糸として」

講師：堀内正規（早稲田大学）

「フラジャイル・ホイットマン」

2020年

☆1月例会 1月11日(土)

会場 千里金蘭大学 3715教室

若手シンポジウム「アメリカ文学における親たち」

司会：大川 淳（京都ノートルダム女子大学）

講師：小川恭佑（関西学院大学・院）

「オークの木としての Glendinning 家——Her-
man Melville の *Pierre; or, The Ambiguities* に
おける両親」

講師：尾崎裕子（龍谷大学・非）

「再生への旅立ち——*Winesburg, Ohio* にお
ける両親の確執を手がかりとして」

講師：小林亜由美（京都大学・院）

「母にならなかった Janie——Zora Neale Hur-
ston, *Their Eyes Were Watching God* における
母娘の考察」

講師：三宅一平（大阪大学・非）

「拡大家族の夢——Kurt Vonnegut の *Slap-
stick* における非実在の「父」」

★運営委員会を開催

☆運営委員会 4月 メール会議により複数回開催

☆支部総会 5月19日(火)～29日(金) 2359

支部ウェブサイト上で開催

☆5月23日(土)『関西アメリカ文学』第57号編集委員会
(第1回) オンライン開催

中・四国支部

2019年

☆『中・四国アメリカ文学研究』第55号発行（6月1日）

☆『中・四国アメリカ文学学会会報』第58号発行（6月1日）

☆中・四国アメリカ文学学会評議委員会

開催日 6月8日（土）

会場 香川大学

☆中・四国アメリカ文学学会第48回大会

開催日 令和元年6月8日（土）・9日（日）

会場 香川大学 幸町キャンパス 研究交流棟5階

第1日 6月8日（土）

研究発表

1. 新井純美（比治山大学（非））
「『八月の光』における南部女性の表象——リーナ・グローヴの振る舞いと言説」
2. 重迫和美（比治山大学）
「*Requiem for a Nun* における Faulkner の特異な語り手」
司会：大野瀬津子（九州工業大学）
3. 山口善成（金沢大学）
「Bret Easton Ellis, *American Psycho* とうわのそらの文学」
司会：的場いづみ（広島大学）
4. 光森幸子（比治山大学（非））
「真の黒人表現を求めた Hurston——短編小説“Spunk”と劇 *Spunk* から窺える Hurston の二重戦略」
司会：吉岡志津世（神戸女子大学）

特別講演

講師：諏訪部浩一 氏（東京大学）
演題 「ウィリアム・フォークナーとファム・ファタールの詩学」
司会：重迫和美（比治山大学）

第2日 6月9日（日）

シンポジウム

「アメリカ文学・映画における動物との「交わり」」
司会：若松正晃（福山大学）

1. 講師：戸田 慧（広島女学院大学）
「猫と寝る男，馬を愛す男——アーネスト・ヘミングウェイと動物性愛」
2. 講師：平井智子（広島国際大学）

「血塗れの闘い——メルヴィル，ポー，ヘミングウェイの動物と人間」

3. 講師：若松正晃
「人間との遭遇——ターザンを通して見る人間と動物の交わり」
4. 講師：高野泰志（九州大学）
「“Tu es vraiment trop affreux!”——『猿の惑星』をめぐる獣姦，異人種混交，進化論」

総会

☆「Newsletter」第100号発行（11月1日）

☆支部運営委員会

開催日 12月14日（土）

会場 広島経済大学 立町キャンパス

☆冬季大会

会場 広島経済大学 立町キャンパス 132教室

日時：12月14日（土）15：00～17：20

研究発表

発表：酒井康宏（米子工業高等専門学校）
「スタインベックの『聖処女ケイティ』を読む——ケルト文化の観点から」
司会：山内 圭（新見公立大学）

特別講演

講師：Ursula K. Heise（UCLA）
演題 Urban Storytelling and Multispecies Futures
司会：伊藤詔子（広島大学名誉教授）

2020年

☆支部編集委員会（論文審査）

開催日 2月14日（金）

会場 比治山大学

九州支部

2019年

☆9月例会

9月7日(土) 13時~17時

西南学院大学 学術研究所第4会議室

研究発表1

森田 司(九州大学・院)

「ヘミングウェイを繰り返すデイビッド・ボーン
——『エデンの園』におけるモチーフの繰り返し」

司会：光富省吾(福岡大学)

研究発表2

岡裏浩美(福岡大学他非常勤講師)

「*The Crucible*における演じる女性たち——男
性主体のスク립トを超えて」

司会：岡本太助(九州大学)

特別講演

本合 陽(東京女子大学)

「Truman Capote とインターテクスチュアリティ
——*Breakfast at Tiffany's*を中心に」

司会：坂井 隆(福岡大学)

☆日本英文学会第72回九州支部大会

10月26日(土) 15時~17時30分

熊本県立大学講義棟2号館中講義室3

アメリカ文学部門シンポジウム

「女性と文学を政治と法から考える——アメリカ
女性参政権承認から100年を期に」

司会・講師 鈴木章能(長崎大学)

講師 喜納育江(琉球大学)

講師 羽澄直子(名古屋女子大学)

講師 森あおい(明治学院大学)

☆12月例会

12月14日(土) 13時~18時00分

西南学院大学学術研究所大会議室

研究発表

毛利優花(西南学院大学大学院博士後期課程)

「フィリップ・K・ディックの『アンドロイドは
電気羊の夢を見るか?』に描かれるエコロジー的
表象」

司会：肥川絹代(近畿大学)

シンポジウム

「アメリカ文学を実況プレイ! 『DETROIT:
BECOME HUMAN』を読む」(Playing American
Literature, Reading *Detroit: Become Human*)

司会・講師：岡本太助(九州大学)

講師：矢倉喬士(西南学院大学)

講師：Robert Preslar(西南学院大学)

講師：Azrail(ゲーム実況)

2020年

☆役員会・KALS 賞選考会

3月7日(土) 13時~

九州大学伊都キャンパスイースト1号館5階, 会議
室L

☆九州アメリカ文学会第66回大会(開催中止)

5月9日(土), 10日(日)

九州大学伊都キャンパス